

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第9回）の概要

1 開催日時

平成25年8月8日（木）10:00から11:00まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第2会議室

3 出席者

評価委員会委員：5名

事務局：6名

法人：9名

4 内容

(1) 県健康福祉部長挨拶

(2) 議事

① 報告事項

- ・ 事務局から、第8回評価委員会の概要について資料1により報告。

質疑応答

なし

② 平成24年度における法人の業務の実績に関する評価について

- ・ 事務局から、業務実績評価等の実施日程について資料2により、評価結果の素案について資料3により説明。

主な質疑応答・意見

〔●委員 ○事務局 □法人〕

- 法人として剰余金を今後どのように扱う予定なのか。

有効に活用して欲しい。

- 中期計画で剰余金が生じた場合は、病院の施設整備や医療機器の購入等に充てるということとなっているが、特に総合医療センターについては、昭和58年に建物が建設されていることから、今後、建て替えの検討をしていかななくてはならない。

そういった施設整備等を検討する中で、有効な活用について考えていきたい。

- 県から負担金の出ている周産期医療などに、充てることは考えられるか。

- 県の医療施策に資するという目的のため、周産期医療や救急医療などの不採算医療については、その不足額を負担金として受けている。

県からの負担金ができる限り軽減できるよう今後も経営努力を行う。

- 法人として、研修への参加など、職員の育成に非常に力を入れていることから、これも評価書の中で触れてはどうか。

また、2病院の医薬品を共同調達していることについても、効率化につながっていることから評価書の中で触れてはどうか。

- 特に放射線技師が積極的に研修を受講しており、医師が診断をする上で非常に重要となる画像の質が大変よくなるなど、医療の質の向上につながっている。共同調達についても、総合医療センターとこころの医療センターで同じ医薬品を利用する場合もあるので、費用の節減につながっている。

- クレジット・デビットカードの利用状況を知りたい。

- 入院などでは自己負担額が高額となる場合もあるため、好評であり、1割弱の利用がある。

- 治験についての受け入れはどうか。

- 治験審査委員会を設けており、そこで十分に審議している。

評価委員会の意見のとりまとめ

平成24年度における法人の業務の実績に関する評価結果の原案については、審議の中での意見を踏まえ修正することとした箇所を補正した上で承認することとされた。

また、修正に係る文章の表現等については、今後、委員長と事務局で調整し、委員長一任とすることで承認された。

③ 平成24年度における法人の財務諸表について

- ・ 事務局から、財務諸表承認の適否について資料4により説明。

質疑応答

なし

評価委員会の意見のとりまとめ

平成24年度における法人の財務諸表に係る評価委員会の意見(案)は、「法人の申請どおり承認することが適当である。」とすることで承認された。